

大綱 1「みんなで創る生きがいあふれるまちづくり」～「おうしゅうたろう」の活用状況について～(担当：ふるさと交流課)

「**みんなで育てるキャラクター**」として、令和6年5月10日にリリースしました。市でノベルティ等PR資材を作成し、市事業での活用のほか、使用取扱要領を定め市民団体・民間事業者等へ、イラストデータを無償で提供しています。



活用実績 合計**268件**だビン！
(R7.3月末時点)

★イラスト★

- ・各課事業等：128件（スクールバス時刻表等への挿絵ほか）
- ・民間企業等：101件（お菓子、記念撮影パネルほか）



★ぬいぐるみ★

- ・各課事業等：25件（65歳からの生き方講座ほか）
- ・各種団体等：14件（企業PRの動画撮影ほか）

Instagramで大人気だビン！

フォロワー R6.4月末1,893人⇒ 3月末**4,346人**
キャラリリース動画再生 **16,000回**突破



【主な活用方法】

- ①市HP、SNS、LINEでの情報発信
- ②バックパネル、ぬいぐるみ、クリアファイル、ステッカー制作。イベント等での活用、配布
- ③イラストデータ、ぬいぐるみの貸し出し

【今後の展開】キャラクター自身の設定やエピソードについて、奥州市の魅力と戦略的にリンクさせながら発信。さらなる情報の拡散や、企業等での新たな商品開発なども含めた利活用を進める。

大綱 2「未来を拓く人を育てる学びのまちづくり」～ICT支援員の配置について～

(担当：学校教育課)

令和6年度2学期からICT支援員3人による小中学校への訪問支援を実施しています。現代の教育に不可欠とされるICT学習。支援ツールの活用普及や操作技術の向上のため令和7年度も継続します。

【主な支援】

- ① ノートPCや電子黒板の操作・活用頻度拡大を支援
- ② デジタル教科書やAI型ドリルの授業・自宅学習への活用拡大を支援
- ③ 児童生徒や教員の情報活用能力の向上を支援
- ④ ICT機器の準備・片付け、障害対応など教職員の負担を軽減



情報モラル教育も欠かせません

【情報モラル教育とは】

児童生徒がインターネットやデジタル技術を適切かつ安全に活用できるようにするための教育です。

授業や特別活動を通じて、事例を交えながら指導し、主体的に判断し活用できる力を育成することを目的としています。